

日本標準商品分類番号	873133
承認番号	23000AMX00061000
薬価収載	2018年6月
販売開始	2018年6月
再評価結果	1992年6月

パンテチン製剤

処方箋医薬品注) **パンテチン注 200mg 「イセイ」**
PANTETHINE Injection

(パンテチン注射液)

貯法：室温保存

使用期限：容器及び外箱に表示

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

【組成・性状】

パンテチン注200mg「イセイ」は、1管(2mL)中にパンテチン200mgを含有する無色澄明の水溶性注射液である。添加物として氷酢酸2.4mg、等張化剤及びpH調整剤を含有する。

pH	浸透圧比 (生理食塩液に対する比)
4.2~5.2	約1

【効能又は効果】

1. パントテン酸欠乏症の予防及び治療
2. パントテン酸の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給(消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊産婦、授乳婦など)
3. 下記疾患のうち、パントテン酸の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合
 - 高脂血症
 - 術後腸管麻痺
 - ストレプトマイシン及びカナマイシンによる副作用の予防及び治療
 - 急・慢性湿疹
 - 血液疾患の血小板数並びに出血傾向の改善

なお、「3.」の適応に対して、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。

【用法及び用量】

通常、成人にはパンテチンとして1日20~100mg、血液疾患、術後腸管麻痺には1日200mgを1~2回に分けて、皮下、筋肉内または静脈内注射する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

分類	頻度	頻度不明
消化器		腹部膨満、腹痛、下痢・軟便、悪心

2. 適用上の注意

(1) 筋肉内注射時

筋肉内注射にあたっては、組織・神経等への影響を避けるため下記の点に注意すること。

- 1) 注射部位については、神経走行部位を避けて慎重に投与すること。
- 2) くりかえし注射する場合には、左右交互に注射するなど、同一部位を避けること。なお、低出生体重児・新生児・乳児・幼児・小児には特に注意すること。
- 3) 注射針を刺入したとき、激痛を訴えたり、血液の逆流をみた場合は、直ちに針を抜き、部位をかえて注射すること。

(2) 開封時

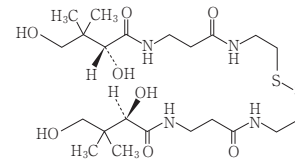
本剤はアンプルカット時のガラス片混入の少ないクリーンカットアンプルを使用しているが、さらに安全に使用するため、エタノール消毒綿等で清拭シカットすること。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：パンテチン (Pantethine)

化学名：Bis(2-[3-[(2R)-2,4-dihydroxy-3,3-dimethylbutanoylamino]propanoylamino]ethyl) disulfide

化学構造式：



分子式：C₂₂H₄₂N₄O₈S₂

分子量：554.72

性状：本品は無色～微黄色澄明の粘性の液である。
水、メタノール又はエタノール(95)と混和する。
本品は光によって分解する。

【取扱い上の注意】

〈安定性試験〉

最終包装製品を用いた長期保存試験[室温保存、3年]の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、パンテチン注200mg「イセイ」は室温保存において3年間安定であることが確認されている。¹⁾

※【包装】

パンテチン注200mg「イセイ」：2 mL 50管

【主要文献】

1) コーアイセイ株式会社：社内資料(安定性試験)

※※【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

コーアイセイ株式会社 くすり相談窓口

☎990-2495 山形市若葉町13番45号

TEL 023(666)5797

FAX 023(624)4717



製造販売元
コーアイセイ株式会社
山形市若葉町13番45号